※令和４年度以降入学生用

学校番号	T0315

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）初級の数学	単位数	１単位	年次	１～４
使用教科書	なし						
副教材等	自作教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学力の土台となる基礎的問題の精選とその学習指導を行います。

２　学習の到達目標

（知識及び技能）数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解する。
（思考力,判断力,表現力等）数学を活用して論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につける。
（学びに向かう力,人間性等）数学的活動の楽しさや、数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c: 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式，１次関数,１次方程式などの事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数と式，１次関数，図形と計量の内容において,事象を数学的に考察し表現したり,思考の過程を振り返り多面的･発展的に考えたりすることなどを通して,数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式，１次関数，図形と計量の内容の論理や体系に関心をもつとともに,数学のよさを認識し,それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	**数と式の計算**	・計算の基本 ・単項式と多項式 ・多項式の加法と減法 ・多項式の乗法 ・展開の公式 ・因数分解	a:・ 数の計算，分数の計算ができる。 ・ある量について，文字を使った式で表すことができる。 ・多項式の同類項をまとめ，次数の大きい順に整理することができる。 ・多項式の加法，減法の計算ができる。 ・展開の公式を利用することができる。 ・因数分解の公式を利用することができる。 ・ 計算の優先順位を理解し，その優先順位のとおりに計算ができる。 ・単項式や多項式，次数，同類項について理解している。 b:・ 式の展開は分配法則を用いれば必ずできることを理解している。 ・文字をおきかえることによって式の展開，因数分解を簡略化することができる。 c:・因数分解の検算に展開を活用しようとする態度がある。 ・自分の答えについて、展開公式等の根拠を示しながら説明することができる。	・小テスト	・課題プリント ・小テスト	・課題プリント
２学期	１次関数とグラフ	・関数 ・１次関数のグラフ	a:・代入法を用いて関数の値を求めることができる。 ・求めた座標を座標平面に表すことができる b:・放物線の軸や頂点の場所を理解し、求めることができる。 ・与えられた一次関数と二次関数のグラフを書き表すことができる c:・グラフの概形を理解し、与えられたグラフがなぜその形になるのか説明することができる。 ・１次関数や２次関数を日常の事象にあてはめ、課題解決に活用しようとしている。	・小テスト	・課題プリント ・小テスト	・課題プリント

※令和４年度以降入学生用

3学期	図形と計量	・直角三角形 ・三角比 ・三角比の利用 ・三角比の相互関係	a:・三角比から辺の長さを求められることを，三角比の定義から理解できる。 ・直角三角形において，正弦・余弦・正接が求められる。 ・$\sin^2 A+\cos^2 A=1$ を用いて sinA や cosA の値を求めることができる。 b:・三角定規の形の三角形の辺の比について理解している. ・具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。 ・直角三角形において，三平方の定理を利用して，辺の長さを求められる。 c:・直接測ることのできない距離を求めることに興味・関心をもって取り組んでいる。	・小テスト	・課題プリント ・小テスト	・課題プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度